

令和5年度（行政課）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底） 【必須事項】	法令遵守意識をより確固としたものにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場研修において、不祥事防止に係るチェックリストや内部統制制度に係る啓発資料等を用いて、職員の法令遵守意識のチェックや必要事項の再確認を行った。 ○ 令和5年度に行政課内で法令や服務規律に違反した行動は認められなかったため、所期の目標は達成できたと考える。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止【必須事項】	パワハラ、セクハラをはじめとする職場のハラスメントの問題について理解を深め、未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場研修において、性的マイノリティの人権をテーマとして扱い、配慮すべき点や用語をまとめた解説資料を作成し、各職員に資料の感想等を考察させた。 ○ 令和5年度に行政課内でハラスメントに該当するような言動は認められなかったため、所期の目標は達成できたと考える。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	情報の管理方法を再度確認し、重要情報の紛失、漏えい等を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ メールの送信時等のダブルチェックやBCC欄への入力、重要情報等の持出しの際の事前手続きを遵守し、情報漏えいや紛失の未然防止を徹底した。 ○ 令和5年度に行政課内で情報漏えいや紛失に該当する事故は発生しなかったため、所期の目標は達成できたと考える。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故や飲酒運転を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 懇親会等の実施においては、適切な終了時刻を設定し、過度な飲酒を抑制するための対応を徹底した。 ○ 令和5年度に行政課内で飲酒運転等の交通違反に該当する事故は発生しなかったため、所期の目標は達成できたと考える。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	職員間の相互チェック体制や業務協力体制を確立し、適切に業務を執行する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝夕ミーティング等を活用した組織的な業務管理を行うとともに、起案や資料等の作成においては、確認者も当事者意識を持って、入念な内容確認を徹底して実施した。 ○ 令和5年度に行政課内で重大な業務の遅滞や対応漏れ等は認められなかったため、所期の目標は達成できたと考える。
財務事務等の適正執行	財務規則等を遵守した適切な事務手続きを徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内部統制の概要や評価結果をまとめた啓発資料を作成し、職場研修で周知したことで、適正な事務手続きの徹底に係る職員の意識醸成を図った。 ○ 令和5年度に行政課内で財務規則等に違反した事案等は認められなかったため、所期の目標は達成できたと考える。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(所属長意見)

不祥事ゼロプログラムに掲げたすべての課題について、職員への徹底がされており、目標の達成状況は全体的に高かった。

令和5年度は教育委員会全体の処分件数が大幅に増加した中で、不祥事防止を所管する行政課の職員としては、一層の高い法令順守の意識を持って、行動していかなければならないと考える。

組織的な業務の進行管理やチェック体制を強化することで、公務内の事故防止を徹底するのはもちろんのこと、校務外の非行の防止についても、職員に徹底して指導していく必要がある。

昨年度は、教育委員会の事務局職員による性犯罪・性暴力等事案も発生していることから、性犯罪や性暴力等が被害者にどれだけ大きな影響を与えるのかを十分に理解させることが必要である。

また、懲戒免職や逮捕となった場合には、自身の人生にも多大な影響を与えることも十分に認識させ、不祥事を起こさない、起こさせないという意識を職員に定着させるために、日常のコミュニケーションや所属研修等での意識醸成を徹底して行っていく。